

立体駐車場の景観形成とデザイン指針

自動車の利用が仕事や生活から切り離せない「車社会化」が進むなか、その使い方やマナーの悪さが問題となっています。

特に、路上駐車常態化は大きな社会問題となっており、その解決に向け、適切な駐車場整備が必要とされています。そこで、大阪市では、附置義務駐車場条例の強化や公的駐車場の整備を進めるとともに、民間駐車場建設資金融資制度を設け、都心部等における民間の駐車場づくりを支援しています。

一方、今日のまちづくりでは、魅力的な都市景観の創造、豊かさや潤いの演出といったこと

が重要視されるようになってきました。しかし、タワー型や多段機械式の立体駐車場は、その規模からみて、景観形成に与える影響は大きいにもかかわらず、単調なデザインや外壁仕上げ、乱雑なサインなどにより、周囲のまちなみとの調和を乱している場合が少なくありません。

この「立体駐車場デザイン指針」は、立体駐車場の設計にあたっての景観的・デザインの配慮のポイントやヒントを示したものです。記載内容をご理解のうえ、周囲のまちなみと調和した、質の高いデザインの駐車場を設計されるようお願いいたします。



立体駐車場は、その形態から「建物への組み込みタイプ」と「自立型タワー・タイプ」に分けられます。とくに後者の「自立型」は、目立ちやすさや機能性・経済性が優先されやすいという傾向もあり、指針にそった十分な配慮を期

待するものです。

周囲のまちなみとの景観的調和などデザイン的対応を進めるうえで、つぎのような「遠景」、「中景」、「近景」の3つの視点から検討するのがわかりやすいと思われます。

遠景

立体駐車場を遠くから眺めた場合は、建物の上部の表情や全体の輪郭などが目につきます。周囲のまちなみと調和した形態とするうえでは、屋根の形やプロポーションなどに注意する必要があります。

中景

通りの反対側から眺めた場合などには、外壁の素材、色、サインなどが目につきます。これらに配慮し、まちなみの雰囲気づくりを行う必要があります。

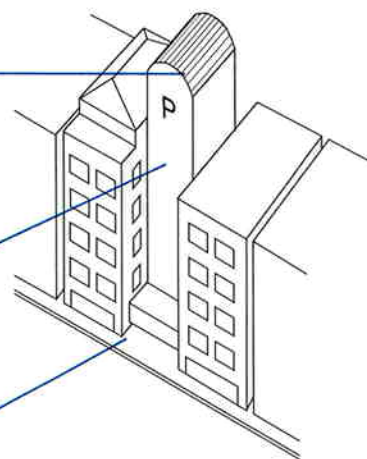
近景

駐車場の敷地付近を通る時は、空地の取り方やそのデザイン、1階および出入口部分の表情などが目につきます。まちなみの形成やにぎわいづくりに配慮する必要があります。

遠景づくりで配慮を必要とするところ

中景づくりで配慮を必要とするところ

近景づくりで配慮を必要とするところ

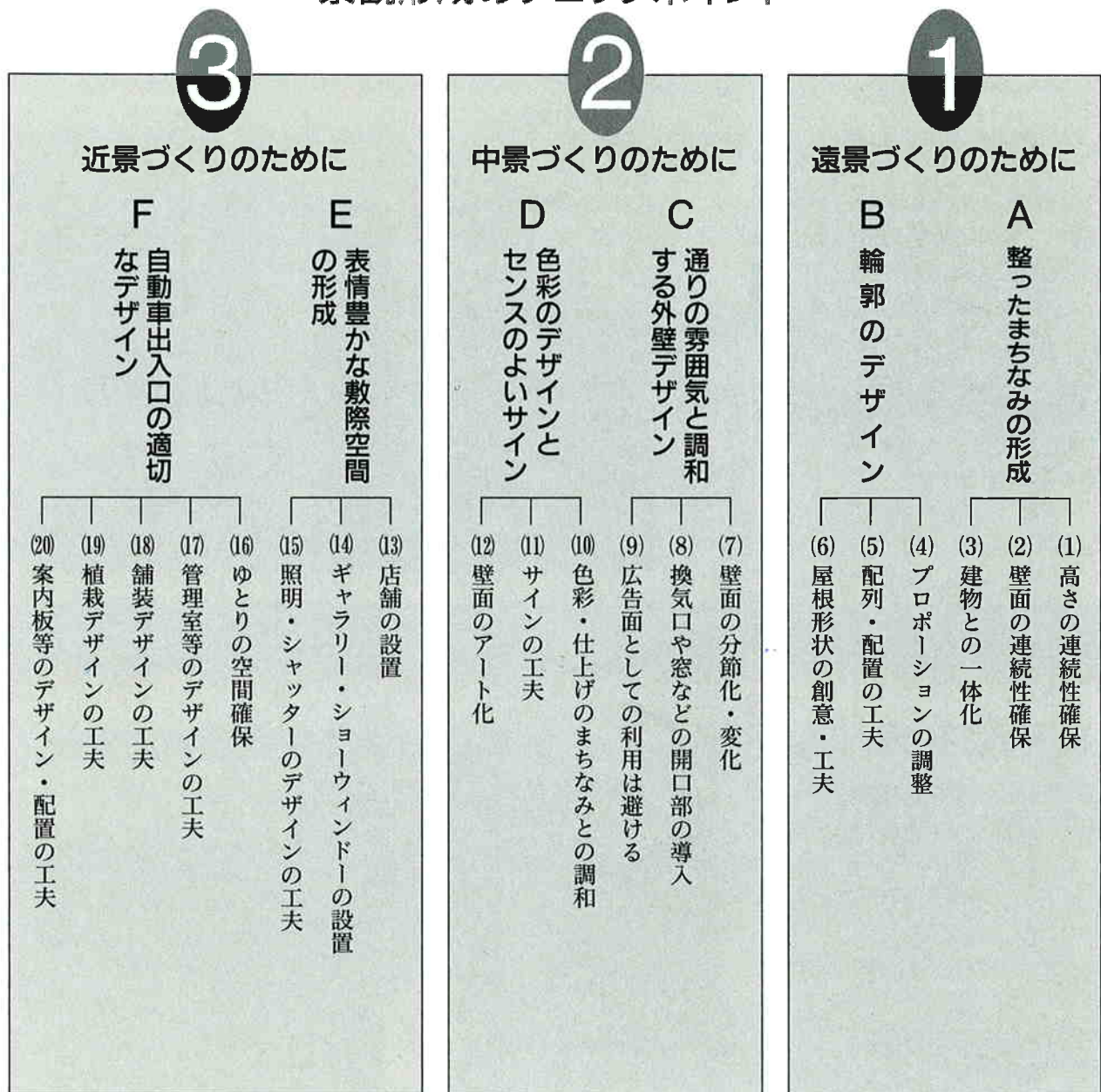


景観形成のチェックポイント



立体駐車場をつくる上で配慮すべき内容・項目については、
裏ページに示したとおりですが、
それらを下表のチェックポイントとしてまとめることができます。

景観形成のチェックポイント



1

遠景づくりのために

配慮するポイント

A 整ったまちなみの形成

立体駐車場は、高さや形状に特徴があり、遠くからもよく目立ちます。整ったまちなみ景観やスカイラインをつくるよう、周囲のまちなみや建物と

1) 高さの連続性を保つ

2) 壁面の連続性を保つ

ようデザインして下さい。

また可能であれば、

3) 建物と一体化させる

という方法も検討して下さい。



B 輪郭のデザイン

立体駐車場は、ボリュームが大きいわりには、輪郭・形状が単純であり、周辺景観と調和させるうえで工夫を要します。ボリューム感を調整するため、

4) 建物群のプロポーションを整える

5) 配列・配置に工夫する

などを検討して下さい。

また、建物頂部は、勾配屋根を設置するなど

6) 屋根の形状に創意・工夫を加える

よう配慮して下さい。



2

中景づくりのために

配慮するポイント

C 通りの雰囲気と調和する外壁デザイン

駐車場壁面のデザインは、街路の景観構成に大きな影響を与えます。街路空間への圧迫感や単調な雰囲気を解消するよう、

7) 壁面を分節化して変化をつける

8) 壁面にスリット・換気口・窓などの開口部を導入する

9) 広告面としての利用は避けるなどにより、都心市街地のまちなみづくりに参加するよう心がけて下さい。



D 色彩のデザインとセンスのよいサイン

周囲の建物・まちなみと調和するよう、10) 壁面の色彩・仕上げについては、親しみのもてる落ち着いたものとする

ように考えて下さい。壁面などにサインを描く場合にも、建物・工作物とのバランスをとりながら、

11) 親しみのもてる落ち着いたサインとする

12) 壁面を創意豊かにアート化する

などの工夫を行って下さい。



3

近景づくりのために

配慮するポイント

E 表情豊かな敷際空間の形成

都心市街地では、建物が道路に接する部分(敷際空間)に店舗や建物のロビー空間を配置し、さらには花や緑で飾るなどにより、まちなみにぎわいやうるおいをもたらす配慮が求められます。歩行者が楽しみながら往来できるよう、表情豊かなデザインが期待されていることを念頭に、

13) 店舗を設置する

14) ギャラリー、ショーウィンドーなどの施設を設置する

15) 夜間の照明やシャッターのデザインに工夫する

などの項目もあわせて検討して下さい。



F 自動車出入口の適切なデザイン

車廻し空間を配置する前面空地部などには、16) ゆとりの空間を確保し、歩行者の安全に配慮する

17) 管理室その他を一体的にデザインする

18) 舗装デザインに工夫を加える

19) 立体緑化など、植栽デザインに工夫を加える

などの諸点に配慮して下さい。また、

20) 駐車場内の案内板やストリートファニチャーについては、全体計画の中で早い段階から捉え、デザイン・配置に工夫することが必要です。

